

全国国立大学附属学校PTA連合会 2018年度団体表彰エントリーシート

所属学校名	上越教育大学附属中学校		
P T A名称	上越教育大学附属中学校P T A	会長名	熊田 僚己
応募部門	事業部門		
事例名称	1 to 1 タブレット端末導入サポート		

当校では、2011年度から2013年度まで、総務省フューチャースクール事業、文科省学びのイノベーション事業を推進し、一人1台（1 to 1）のタブレット端末を導入し、研究を推進してきた経緯がある。その後、レンタル期間が終わり、端末が一斉に引き上げられる事態となった。構築したネットワーク環境の保守、管理、及び実績を上げてきた生徒一人1台のタブレット端末環境をどのように維持していくかが課題となった。

2014年度から、P T Aでは、構築されているネットワーク環境を含めるI C Tサポートができないかを検討した。まず、個人が持つタブレット端末を保護者が負担することとし、学校教育全般でI C Tを活用できる環境の保守、管理に関して、P T A会長と業者間で委託契約をすることとした。2016年度から段階的に導入を進め2017年度からは、全校生徒が個人のタブレット端末を使う環境ができあがった。その結果、以下のような成果を収めている。

- ・各教科、特別活動でタブレット端末を使った授業を日常的に進め、生徒が主体的に学習できる環境を整えることができた。
- ・学校からのたより「副校長だより」、「学年通信」、「保健だより」、「給食だより」等をデジタル配信とし、動画等の配信も可能となった。また、紙媒体のたよりをなくすことで、紙代、印刷代などの経費を削減することができた。
- ・管理された生徒のI Dを持たせることを条件に、保護者との連絡にGmailを使用できるようになった。
- ・保護者が生徒に貸し与えることを前提にすることで、学校と保護者が連携して生徒の使用方法を確認し、トラブル防止、トラブル解決につながっている。
- ・I C T支援員を年間30時間程度雇用することで、P T Aに関わる案内やアンケート集計、たよりや動画の配信を行うことができ、保護者の情報共有が容易になった。その結果、年間のP T A業務が軽減され、その分、充実した活動ができるようになった。

以上のことから、新しい学校とP T Aの連携の在り方を提案するとともに、P T Aの関わり方を大きく変革することにつながっている。また、先生方の業務軽減にも繋がり、教員の働き方改革を進める上でも大きく貢献している。



保護者タブレット端末講習会



タブレット端末を使って学ぶ生徒